

神の表現、行動、行政のための

風、雲、火、エレクトラムと、四つの生き物の組み合わせ

聖書：エゼキエル 1:4-16, 26

I. あらゆる正常なクリスチャンの霊的な歴史は、風、雲、火、エレクトラムとしての神を経験することにかかわる継続的な循環であるべきです——エゼキエル 1:4 :

- A. 神がわたしたちに臨み、わたしたちを復興するときにはいつも、彼の霊は力強い風のようにわたしたちの上を吹いて、霊的な暴風をわたしたちの生活、働き、召会にもたらし、わたしたちを不満足にならせ、わたしたちの霊的な状態に関心を持たせ、わたしたちの霊的な生活に転機を持たせませす—— 4 節。
- B. 雲はその霊としての神の表徴であり、彼の民と共に住んで彼らを覆い、彼らを顧み、彼らに好意を示します—— 4 節. 出 13:21. 40:34-35。
- C. 火は神の燃える、聖別する力を表徴します。聖霊の火がわたしたちの中で燃えれば燃えるほど、ますますわたしたちはきよめられ、照らされます——エゼキエル 1:4. 申 4:24. ヘブル 12:29。
- D. エレクトラムは、金と銀の要素から成っており、小羊・神、すなわち贖う神を表徴します——エゼキエル 1:4. 啓 22:1 :
 - 1. わたしたちが風、雲、火を経験すればするほど、ますますエレクトラムがわたしたちの存在の中に構成し込まれ、そのことがわたしたちを、三一の神で満たされた、彼の栄光を現す人としませす——エペソ 3:16-17, 21。
 - 2. 霊的な出来事の結果は、吹く風、覆う雲、きよめる火と関係があり、光り輝くエレクトラム、すなわち贖う神の光輝な表現です。

II. わたしたちは吹く風、覆う雲、燃える火、光り輝くエレクトラムとしての神を経験すればするほど、ますます神聖な命をもって生かされて、四つの生き物となります——エゼキエル 1:5 前半 :

- A. 四つの生き物は個別のものではなく、一組、一つの実体と考えられます。
- B. 四つの生き物が人の姿を持っており、御座の神も人の姿を持っていることは、神の中心思想と彼の案配が、人と関係があることを示します—— 5 節後半, 26 節. 創 1:26. 詩 8:4-8 :
 - 1. エゼキエル第 1 章で明らかに示されているビジョンによれば、人は神が彼の栄光を現す手段、神が地上で行動する手段、神が御座で行政を執行する手段です。
 - 2. 神は風、雲、火、エレクトラムを用いて、わたしたちを生かし、彼の現れ、行動、行政の手段としての人を得ませす。

III. エゼキエル第 1 章 11 節後半から 14 節は、生き物の組み合わせの明確な絵を伝えています。それは、キリストのからだの肢体の組み合わせがある正常な召会生活の描写です :

- A. 生き物の二つの翼（わしの翼）が連なっていることは、組み合わせにおける彼らの団体の行動のためです—— 11 節後半 :
 - 1. わしの翼は、わたしたちに適用される神の恵み、強さ、力を表徴します——出 19:4.

イザヤ 40:31. II コリント 1:12. 4:7. 12:9.

2. わしの翼は、生き物が組み合わされ、一として行動する手段です。彼らの組み合わせは彼ら自身の中にあるのではなく、神の中にあり、神聖な恵み、強さ、力によります——参照、出 26:26-29。

B. 生き物の行動は個人的ではなく団体的であり、組み合わせにおける一つの実体の行動です。これはキリストのからだとしての召会における組み合わせの美しい絵であり、からだの中で各肢体は自分の特別な地位と機能（あるいは務め）を持ちます——エゼキエル 1:12. ローマ 12:4-8. I コリント 12:14-30. エペソ 4:7-16。

C. 生き物の組み合わせの結果は、彼らが燃える炭となることであり、彼らの間で、また彼らの内で、焼き尽くす火としての聖なる神を持っています。御座における主も生き物も火の外観を持っていることは、生き物が主の表現であることを示しています——エゼキエル 1:13, 26. ヘブル 12:29。

D. 生き物は、正常な組み合わせを持っており、歩くのではなく走ります。なぜなら、彼らは力と衝撃力を持っているからです——エゼキエル 1:14。

E. キリストのからだの肢体である信者たちの組み合わせの結果は、キリストの団体の表現、地上における神の行動、御座における神の行政であり、こうして神に、彼の栄光を現し、彼の永遠の定められた御旨とご計画を完成する道を与えます——4-12, 26 節。

IV. エゼキエル書で、神のエコノミーと神のエコノミーにおける行動は、大きな車輪で表徴されます——15 節. エペソ 1:10. 3:9. I テモテ 1:4 :

A. この大きな車輪の車軸は、神のエコノミーの中心であるキリストを表徴します。縁は、キリストの配偶者、すなわち召会を表徴し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。車軸から伸びる車輪のスポークは、キリストのからだの肢体である多くの信者たちを表徴します——コロサイ 1:15-18. エペソ 5:30。

B. 生き物のそばにある地上の車輪の出現は、地上での神の行動が、四つの生き物の組み合わせに続くことを示します——エゼキエル 1:15。

C. 車輪が生き物の四つの顔のためであることは、わたしたちが主の行動を持とうとするなら、まず主を生かし出し、彼を表徴しなければならないことを示します——15 節. ピリピ 1:20-21 前半。

D. 四つの車輪はみな同じ外観を持っています。これは、主の行動があらゆる召会の中で同じ外観を持っていることを示します——I コリント 4:17. 7:17. 11:16。

E. 車輪の内側の車輪は、生き物の行動の中に主の行動があることを示します。内側の車輪（車軸としての主）は、外側の車輪（縁としての召会）の行動の力の源です——エゼキエル 1:16。